【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公表番号】特表2009-532077(P2009-532077A)
【公表日】平成21年9月10日(2009.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2009-036
【出願番号】特願2008-556458(P2008-556458)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｎ　1/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　1/32

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月17日(2010.2.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも1 nsPEFを組織に印加する段階を含む、該組織中の標的細胞内でアポトーシスを選択的に開始させるための方法であって、該少なくとも1 nsPEFのそれぞれが、少なくとも約10ナノ秒～約1マイクロ秒以下のパルス持続時間と、少なくとも約10 kV/cm～約350 kV/cm以下の電界パルス強度とを有する、方法。
【請求項２】
インサイチューで実施される、請求項1記載の方法。
【請求項３】
少なくとも1 nsPEFが、少なくとも約300ナノ秒のパルス持続時間と、少なくとも約20 kV/cm～約40 kV/cm以下の電界パルス強度とを有する、請求項1記載の方法。
【請求項４】
少なくとも100 nsPEFを印加する、請求項1記載の方法。
【請求項５】
1回または複数回繰り返される、請求項4記載の方法。
【請求項６】
標的細胞が、脂肪細胞、骨細胞、血管細胞、筋肉細胞、軟骨細胞、幹細胞、またはこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項1記載の方法。
【請求項７】
標的細胞が癌細胞である、請求項1記載の方法。
【請求項８】
癌細胞がメラノーマ細胞である、請求項7記載の方法。
【請求項９】
パルス発生器の作動方法であって、該パルス発生器が、組織中の血流を阻害するための少なくとも1 nsPEFを組織に印加し、かつ該少なくとも1 nsPEFのそれぞれが、少なくとも約10ナノ秒～約1マイクロ秒以下のパルス持続時間と、少なくとも約10 kV/cm～約350 kV/cm以下の電界パルス強度とを有する、方法。
【請求項１０】
インサイチューで実施される、請求項9記載の方法。
【請求項１１】

少なくとも1 nsPEFが、少なくとも約300ナノ秒のパルス持続時間と、少なくとも約20 kV/cm～約40 kV/cm以下の電界パルス強度とを有する、請求項9記載の方法。
【請求項１２】
少なくとも100 nsPEFを印加する、請求項9記載の方法。
【請求項１３】
1回または複数回繰り返される、請求項12記載の方法。
【請求項１４】
組織が、脂肪、骨、皮膚、筋肉、軟骨、またはこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項9記載の方法。
【請求項１５】
組織が癌細胞を含む、請求項9記載の方法。
【請求項１６】
癌細胞がメラノーマ細胞である、請求項9記載の方法。
【請求項１７】
少なくとも1 nsPEFを腫瘍に印加する段階を含む、該腫瘍の退縮を誘導するための方法であって、該少なくとも1 nsPEFのそれぞれが、少なくとも約10ナノ秒～約1マイクロ秒以下のパルス持続時間と、少なくとも約10 kV/cm～約350 kV/cm以下の電界パルス強度とを有する、方法。
【請求項１８】
インサイチューで実施される、請求項17記載の方法。
【請求項１９】
少なくとも1 nsPEFが、少なくとも約300ナノ秒のパルス持続時間と、少なくとも約20 kV/cm～約40 kV/cm以下の電界パルス強度とを有する、請求項17記載の方法。
【請求項２０】
少なくとも100 nsPEFを印加する、請求項17記載の方法。
【請求項２１】
1回または複数回繰り返される、請求項20記載の方法。
【請求項２２】
腫瘍がメラノーマ細胞起源である、請求項17記載の方法。